

平成28年度 第7回教育委員会議 会議録

1. 開 催 日	平成28年10月24日(月)
2. 会 場	役場議員控室
3. 開会及び閉会時刻	開会15時55分 閉会16時25分
4. 出 席 委 員	上松教育長、加藤委員、水崎委員、山口委員、濱本委員
5. 議場への出席者	高桑教育次長(説明員)、岸梅指導参事(説明員) 安田主査(記録者)

議事の概要

- 教 育 長 それでは、ただ今から、平成28年度第7回の教育委員会議を開催します。会議録署名委員は水崎委員を指名し、会期は今日1日でよろしいですか。
- 全 委 員 はい。
- 教 育 長 それでは、事務報告をお願いします。
- 教 育 次 長 (別紙、教育行政執行状況報告を説明)
- 教 育 長 何か質問はありませんか。
- 濱本委員 先日のマラソン大会でコースの手違いがありました。大丈夫でしたか。
- 教 育 次 長 係配置の確認ミスで、大変ご迷惑をお掛けしました。2km終了後に、1kmをやり直しさせていただきました。
- 水崎委員 11月23日の教育講演会は開催されますか。
- 教 育 次 長 記載漏れでした。予定どおり開催します。
- 教 育 長 他に何か質問はありませんか。
- 全 委 員 ありません。
- 教 育 長 次に、議案第1号中札内村文化奨励賞の決定について説明願います。
- 教 育 次 長 (資料1にて説明。) 中札内村文化連盟から一吟会の岡田豊氏の推薦がありました。先日開催された選考委員会において審議され、文化奨励賞に該当する旨の答申をいただいたところです。岡田氏は、平成3年に会に入会して以来、各種大会へ積極的に参加し、研鑽に努められてきました。また、89歳と高齢ながら意欲的に行動される姿は長寿社会に生きる模範となっています。平成15年に師範位を取得し、平成28年には九段位を取得されています。
- 教 育 長 何か質問はありませんか。
- 全 委 員 ありません。
- 教 育 長 議案第1号について、決定してもよろしいですか。
- 全 委 員 はい。
- 教 育 長 次に、議案第2号中札内村文化振興奨励事業補助金について説明願います。
- 教 育 次 長 (資料2にて説明。) アーツスプレッド中札内村実行委員会から申請がありました。例年実施されている事業で、総事業費70万円のうち、30万円を補助申請するものです。
- 教 育 長 何か質問はありませんか。
- 全 委 員 ありません。
- 教 育 長 議案第2号について、決定してもよろしいですか。
- 全 委 員 はい。
- 教 育 長 次に、議案第3号中札内村スポーツ振興奨励事業補助金について説明願います。
- 教 育 次 長 (資料3、4にて説明。) 1件目は第10回JKJO全日本ジュニア空手道選手権大会への参加旅費の補助申請です。本大会は、東京都及び文部科

教育長
全委員
教育長
全委員
教育長

教育次長

教育長

山口委員

濱本委員

教育長

水崎委員

教育長

濱本委員

教育次長

教育長

水崎委員

学省が後援する大会です。宿泊費及び交通費の2分の1の補助申請となります。

2件目は、第13回全日本女子フットサル選手権への参加旅費の補助申請です。主催は日本サッカー協会で、札幌市きたえーるで開催されます。宿泊費及び交通費の2分の1の補助申請となります。

何か質問はありませんか。

ありません。

議案第3号について、決定してもよろしいですか。

はい。

次に、協議第1号中札内村地域協働型学校づくり協議会（コミュニティ・スクール）について説明願います。

（資料5にて説明。）2番目の目指す姿については、ポンチ絵を参照いただきたいと思います。3つ目の組織・体制についてですが、共育の日の取組を推進するとともに、各校の特色ある教育活動を支援し、教育諸課題の克服や解消を目指して協議会を設置します。構成メンバー、主な役割についても記載しています。また、各校に部会を設置することや、組織・機関の連携として小中連携会議や村教育研究所において教育課程案を検討することや、学校支援地域本部が円滑で効果的な人材派遣を行うなどについて記載しています。各校の取り組みの詳細は、今後協議していくこととなります。1月までにコミュニティ・スクールを設置したいと考えていますので、本日お示ししましたコミュニティ・スクールの概要の内容でよろしければ、各関係団体等に説明を行いたいと思います。

ふるさと教育という言葉がどこかに記載されると良いと思います。人づくりという観点で期待したいと思っています。本日は、大枠で承認いただければ次のステップへ進めていきたいと考えています。

3校を1つにまとめたことは良い案だと思います。ポイントがわかりやすい内容だと思います。

地域にたくさんの人材がいると思いますので、コミュニティ・スクールを活用して、アートのまちづくりに取り組めたら良いと思います。

ビエンナーレ事業では、どれだけ子どもたちに波及効果があったか課題もありました。子どもたちにも反映できるような取り組みができれば良いと考えています。コミュニティ・スクール導入により組織的になることで、主体的な人づくり、絆づくりなどまちづくりにつながっていくと思います。時間はかかりますが、一人でも多くの人に関わっていただきたいと考えています。

人と人の関わりの中で、何を作っていくのがコミュニティ・スクールだと思いますので、期待しています。

10年後の姿を見据えて、組織化することで主体的に関わってくれる人を増やすためのきっかけづくりでもあります。

少年団活動はどのように活用するのでしょうか。

少年団活動を通じて、体力向上への活用を考えています。

少年団本部は自立した運営へ変わり、社会貢献活動への参加など、本来の本部事業にも取り組むようになりました。子ども会についても主体的な活動ができるように期待しています。

本日お示ししました、案をベースに進めて、今後具体化していきたいと考えています。

最初からボリュームがあるよりも、協議会の話し合いの中で色々肉付けし

教育長 ていった方がよろしいと思います。
全委員 他に何か質問等はありませんか。
教育長 ありません。
全委員 協議第1号について、承認してもよろしいですか。
教育長 はい。
全委員 全体を通して何かありませんか。
教育長 ありません。
教育長 次回の会議は、11月29日（火）とし、午後4時00分から開催することとします。

平成28年10月24日

教育長 上松文夫
署名委員 水崎清和
記録者 安田紀章